

(無断転載を禁ず)

日商簿記検定
ネット試験予想問題
問題・答案用紙

3 級

(制限時間 60分)

第1問 (45点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引につき示したものの中から最も適切と思われるものを選び、記号で答えること。

1. 電化製品の販売を行う当社は、販売用のノートパソコン5台を購入代価@ ¥120,000 で仕入れ、引取費用 ¥3,000 および消費税 10% (引取費用に対しても課税される) も含めた代金は小切手を振り出して支払った。

ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 仮払消費税 エ. 仕入 オ. 発送費 カ. 租税公課

借方科目	金額	貸方科目	金額

2. 先日掛けで販売した商品 (掛代金は未決済となっている) ¥350,000 が品違いのため返品された。なお、当該商品を販売する際に支払っていた先方負担の発送費用 ¥10,000 を立替金として計上していたが、これを当社負担の費用とすることにした。

ア. 売掛金 イ. 立替金 ウ. 売上 エ. 仕入 オ. 発送費 カ. 旅費交通費

借方科目	金額	貸方科目	金額

3. 電子記録債権 ¥120,000 (前期販売分: ¥46,000、当期販売分: ¥74,000) が回収不能と判断されたため、貸倒処理を行う。貸倒引当金の残高は ¥50,000 である。

ア. 電子記録債権 イ. 電子記録債務 ウ. 貸倒引当金 エ. 貸倒損失 オ. 貸倒引当金繰入
カ. 償却債権取立益

借方科目	金額	貸方科目	金額

4. 事務作業に使用する物品をインターネット注文で購入し、翌日のX3年6月14日において、品物とともに次の納品書兼請求書を受け取った。代金は期日までに普通預金口座から振り込んで支払う予定となっている。

請 求 書			
株式会社沖縄商会 様		鹿児島商事株式会社	
品物	数量	単価	金額
大型プリンター	1	360,000	¥360,000
プリンターインク（黒）	10	6,200	¥ 62,000
印刷用紙（1,000枚入）	10	800	¥ 8,000
合計			¥430,000

X3年6月30日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。

熊本銀行人吉支店 普通 1234567 カゴシマシヨウジ（カ）

- ア. 普通預金 イ. 仕入 ウ. 備品 エ. 買掛金 オ. 未払金 カ. 消耗品費

借方科目	金額	貸方科目	金額

5. 資金繰りの都合上、当社の代表取締役社長A氏より現金¥900,000を借り入れていたが、本日、利息¥30,000とともに当社の当座預金口座からA氏の普通預金口座に振り込んで返済した。なお、当該借入金は、役員借入れであることを明示する勘定を用いて計上している。

- ア. 当座預金 イ. 普通預金 ウ. 借入金 エ. 手形借入金 オ. 役員借入金 カ. 支払利息

借方科目	金額	貸方科目	金額

6. 建物の修繕と改築を行い、代金¥35,000は大阪銀行の小切手を振り出して支払った。このうち建物の現状を維持するための支出額（収益的支出）は¥18,000であり、残りは建物の資産価値を高める支出（資本的支出）である。なお、当社は複数の金融機関を利用しているため、口座ごとに預金勘定を設定している。

- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 当座預金大阪銀行 エ. 建物 オ. 資本金 カ. 修繕費

借方科目	金額	貸方科目	金額

7. 店舗用の建物に係る固定資産税の第2期分¥280,000を、銀行窓口にて現金で納付した。

- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 仮払消費税 エ. 仮払法人税等 オ. 法人税、住民税及び事業税
カ. 租税公課

借方科目	金額	貸方科目	金額

8. 店舗における1日分の売上の仕訳を行うにあたり、集計結果は次のとおりであった。消費税は税抜方式によって処理する。クレジット手数料は、代金回収時に認識する。

売上集計表			
X3年11月17日			
品物	数量	単価	金額
超高級羽毛布団	20	60,000	¥1,200,000
オーダーメイド式熟睡枕	12	30,000	¥ 360,000
消費税			¥ 156,000
合計			¥1,716,000
うち現金払い			¥ 940,000
うちクレジット払い			¥ 776,000

- ア. 現金 イ. 売掛金 ウ. クレジット売掛金 エ. 仮受消費税 オ. 売上 カ. 支払手数料

借方科目	金額	貸方科目	金額

9. X3年2月1日に取得した備品（取得原価¥1,440,000、残存価額ゼロ、耐用年数8年、定額法により償却、間接法により記帳）が不用になったので、X6年度の期首（X6年4月1日）に¥620,000で売却し、代金は翌月末に当社の普通預金口座に振り込まれることとなった。

- ア. 普通預金 イ. 未収入金 ウ. 備品 エ. 備品減価償却累計額 オ. 固定資産売却益
カ. 固定資産売却損

借方科目	金額	貸方科目	金額

10. 用度係から、小口現金に関する次の支払報告を受け、支払額と同額の小切手を振り出した。なお、当社は小口現金について定額資金前渡制度を採用している。

文房具代 ¥14,200 切手代 ¥4,800 茶菓子代 ¥2,600

ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 備品 エ. 通信費 オ. 消耗品費 カ. 雑費

借方科目	金額	貸方科目	金額

11. 店舗用建物の賃借契約を行い、下記の振込依頼書どおりに当社の普通預金口座から振り込み、賃借を開始した。

振込依頼書	
株式会社六甲商事 様	株式会社新開地不動産
ご契約ありがとうございます。以下の金額を下記口座へお振込ください。	
内容	金額
敷金	¥ 480,000
初月賃料	¥ 120,000
仲介手数料	¥ 60,000
合計	¥ 660,000
神戸銀行鈴蘭台支店 普通 4433221 カ) シンカイチフドウサン	

ア. 普通預金 イ. 建物 ウ. 差入保証金 エ. 未払金 オ. 支払家賃 カ. 支払手数料

借方科目	金額	貸方科目	金額

12. 得意先の姫路商店に ¥3,000,000 を貸し付け、同額の約束手形を受け取り、利息 ¥42,000 を差し引いた残額を当社の普通預金口座から姫路商店の当座預金口座に振り込んだ。

ア. 当座預金 イ. 普通預金 ウ. 受取手形 エ. 貸付金 オ. 手形貸付金 カ. 受取利息

借方科目	金額	貸方科目	金額

13. 今月分の従業員に対する給料¥1,350,000につき、所得税の源泉徴収分¥120,000 および社会保険料の従業員負担分¥130,000を控除し、各従業員の指定する銀行預金口座へ当社の普通預金から振り込んで支給した。

- ア. 当座預金 イ. 普通預金 ウ. 所得税預り金 エ. 社会保険料預り金 オ. 給料
カ. 租税公課

借方科目	金額	貸方科目	金額

14. 預け入れていた定期預金¥2,000,000（1年満期、年利率0.9%）が満期となったため、受取利息を加えた金額を、さらに1年満期の定期預金として継続した。

- ア. 当座預金 イ. 普通預金 ウ. 定期預金 エ. 受取利息 オ. 支払利息 カ. 支払手数料

借方科目	金額	貸方科目	金額

15. 株主総会において、繰越利益剰余金¥3,000,000の一部を次のとおり処分することが承認された。

株主配当金 ¥700,000

利益準備金の積立 ¥ 70,000

- ア. 普通預金 イ. 未払配当金 ウ. 資本金 エ. 利益準備金 オ. 繰越利益剰余金 カ. 損益

借方科目	金額	貸方科目	金額

第2問 (20点)

問1

下記の各文の①から⑩に当てはまる適切な語句を、次の語群から選んで記号で答えなさい。

[語群]

ア. 貸借対照表	イ. 損益計算書	ウ. 財政状態	エ. 経営成績
オ. 資産	カ. 負債	キ. 純資産	ク. 収益
ケ. 費用	コ. 入金伝票	サ. 出金伝票	シ. 振替伝票
ス. 仕訳	セ. 転記	ソ. 評価勘定	タ. 実質勘定
チ. 仕訳帳	ツ. 総勘定元帳	テ. 貸倒引当金	ト. 貸借平均

- 外部利害関係者に対し、企業の財政状態や（ ① ）などを報告するための資料を財務諸表という。財務諸表のうち、企業の一定時点における財政状態を表したものを（ ② ）といい、資産、負債、純資産（資本）の各項目が記載される。また、企業の一定期間における（ ① ）を表したものを損益計算書といい、（ ③ ）および（ ④ ）の各項目が記載される。
- 一会計期間の企業活動により、期末純資産（資本）が期首純資産（資本）に比して増加した場合、当該増加額を当期純利益という。当期純利益は、（ ③ ）総額から（ ④ ）総額を差し引いて算定することもできる。ここで（ ③ ）とは、売上、受取手数料、受取利息など、純資産（資本）を増加させた原因をいい、（ ④ ）とは、売上原価、給料、支払家賃、支払利息など、純資産（資本）を減少させた原因をいう。
- 試算表とは、（ ⑤ ）の各勘定口座に記入された借方・貸方の合計金額または各勘定残高を一覧化した表をいう。各勘定口座に記入された借方・貸方の合計金額を一覧化したものを合計試算表、各勘定残高を一覧化したものを残高試算表という。試算表は、（ ⑥ ）の原理にもとづき、総勘定元帳への転記が正しく行われたかどうかを確認したり、期末の決算手続を円滑に行うために作成する。
- 簿記上の伝票とは、（ ⑦ ）帳に（ ⑦ ）を直接記入しない場合において、（ ⑦ ）を記入するための紙片をいう。三伝票制を採用している場合、入金取引を入金伝票に、出金取引を出金伝票に、その他の取引を（ ⑧ ）に記入する。
- （ ⑨ ）勘定は、受取手形や売掛金などの金銭債権のうち回収不能と見込まれる金額を表すための勘定であり、金銭債権に対する（ ⑩ ）とすることができる。したがって、（ ⑨ ）は、受取手形や売掛金などの金銭債権から差し引く形で（ ② ）に表示する。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問2

当社は、毎日の取引を入金伝票、出金伝票、および振替伝票に記入し、これを1日分ずつ集計して仕訳日計表を作成している。当社のX9年6月1日の取引に関して作成された次の各伝票にもとづいて、仕訳日計表を完成し、総勘定元帳（一部）と売掛金元帳における各勘定へ転記しなさい。

ただし、解答欄のうち語句を記入する箇所については、次の中から最も適切と思われるものを選び、記号で答えること。

- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 未払金 エ. 消耗品費 オ. 仕訳日計表 カ. 入金伝票
 キ. 出金伝票 ク. 振替伝票 ケ. 博多商会株式会社 コ. 株式会社宮崎商店

入金伝票	No.101
売掛金 (博多商会株式会社)	¥60,000

入金伝票	No.102
売掛金 (株式会社宮崎商店)	¥52,000

入金伝票	No.103
売上	¥90,000

入金伝票	No.104
受取利息	¥3,000

出金伝票	No.201
買掛金 (岡山商事株式会社)	¥25,000

出金伝票	No.202
買掛金 (広島物産株式会社)	¥56,000

出金伝票	No.203
支払家賃	¥80,000

出金伝票	No.204
消耗品費	¥23,000

振替伝票	No.301
支払手形	¥200,000
当座預金	¥200,000

振替伝票	No.303
売掛金 (博多商会株式会社)	¥160,000
売上	¥160,000

振替伝票	No.302
売掛金 (株式会社宮崎商店)	¥340,000
売上	¥340,000

振替伝票	No.304
土地	¥300,000
未払金	¥300,000

仕 訳 日 計 表

X9年6月1日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
()	現 金	()
	当 座 預 金	()
()	売 掛 金	()
()	土 地	
()	支 払 手 形	
()	買 掛 金	
	未 払 金	()
	売 上	()
	受 取 利 息	()
()	支 払 家 賃	
()	()	
()		()

総 勘 定 元 帳

現 金			売 掛 金		
6/1	前月繰越	290,000	6/1	前月繰越	380,000
"	() ()		"	() ()	
土 地			支 払 手 形		
6/1	前月繰越	600,000	6/1	() ()	6/1 前月繰越 470,000
"	() ()				

売 掛 金 元 帳

博多商会株式会社			株式会社宮崎商店		
6/1	前月繰越	160,000	6/1	前月繰越	220,000
"	() ()		"	() ()	

第3問 (35点)

下記の資料にもとづいて、決算整理後残高試算表を完成しなさい。当社の会計期間は、毎年4月1日から3月31日までの1年間である。

[決算整理前残高試算表]

決算整理前残高試算表		(単位：円)	
現金	20,000	買掛金	500,000
普通預金	100,000	借入金	1,000,000
売掛金	770,000	仮受消費税	340,000
繰越商品	230,000	貸倒引当金	5,000
仮払消費税	227,000	建物減価償却累計額	1,200,000
建物	3,000,000	車両運搬具減価償却累計額	600,000
車両運搬具	1,000,000	資本金	1,000,000
仕入	2,000,000	繰越利益剰余金	520,000
給料	1,140,000	売上	3,400,000
通信費	270,000	受取家賃	454,000
保険料	250,000	受取利息	6,000
支払利息	18,000		
	<u>9,025,000</u>		<u>9,025,000</u>

[未処理事項]

1. 車両運搬具のすべてを期首に売却し、代金¥200,000が普通預金口座へ振り込まれていたが未処理となっていた。
2. 法人税等の中間納付額¥27,000につき、普通預金口座から振り込んで支払っていたが未処理となっていた。
3. 商品¥300,000を売り上げ、代金は消費税(10%)とともに掛とした。

[決算整理事項]

1. 現金実査を行ったところ、現金の実際有高は¥14,000となっていた。帳簿残高との不一致原因は不明のため、雑損または雑益として処理する。
2. 期末の売掛金に対して2%の貸倒れを見積もり、差額補充法により貸倒引当金を設定する。
3. 期末商品の棚卸高は¥250,000である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
4. 建物については定額法(耐用年数20年、残存価額ゼロ)により減価償却を行う。
5. 購入時に費用処理していた切手¥9,000分およびはがき¥4,000分が未使用となっているため、貯蔵品へ振り替える。
6. 消費税について必要な決算整理を行う。なお、消費税は税抜方式による会計処理を行っている。
7. 普通預金に係る利息について、未収分が¥1,000ある。
8. 保険料のうち¥30,000が前払分となっている。
9. 受取家賃のうち¥40,000が前受分となっている。
10. 借入金に係る利息について、未払分が¥2,000ある。
11. 当期の法人税等が¥66,000と計算されたので、仮払法人税等との差額を未払法人税等として計上する。

決算整理後残高試算表

(単位：円)

現金	()	買掛金	500,000
普通預金	()	借入金	1,000,000
売掛金	()	未払消費税	()
繰越商品	()	未払法人税等	()
貯蔵品	()	前受家賃	()
未収利息	()	未払利息	()
前払保険料	()	貸倒引当金	()
建物	3,000,000	建物減価償却累計額	()
仕入	()	資本金	1,000,000
給料	()	()	()
通信費	()	売上	()
保険料	()	受取家賃	()
貸倒引当金繰入	()	受取利息	()
減価償却費	()		
支払利息	()		
()	()		
固定資産売却損	()		
法人税等	()		
	()		()